



令和3年(2021年)第7週 2021年2月22日(月)~2021年2月28日(日)

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報

## ●RSウイルス感染症が増加中です

RSウイルス感染症が増加しています。例年の流行とは異なる時期の増加のため、今後しばらくは注意が必要です。RSウイルス感染症はRSウイルスによる呼吸器の感染症で、年齢を問わず、生涯に何度も感染と発病を繰り返します。発症の中心は0~1歳児で、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の子どもが少なくとも1回は感染すると言われています。

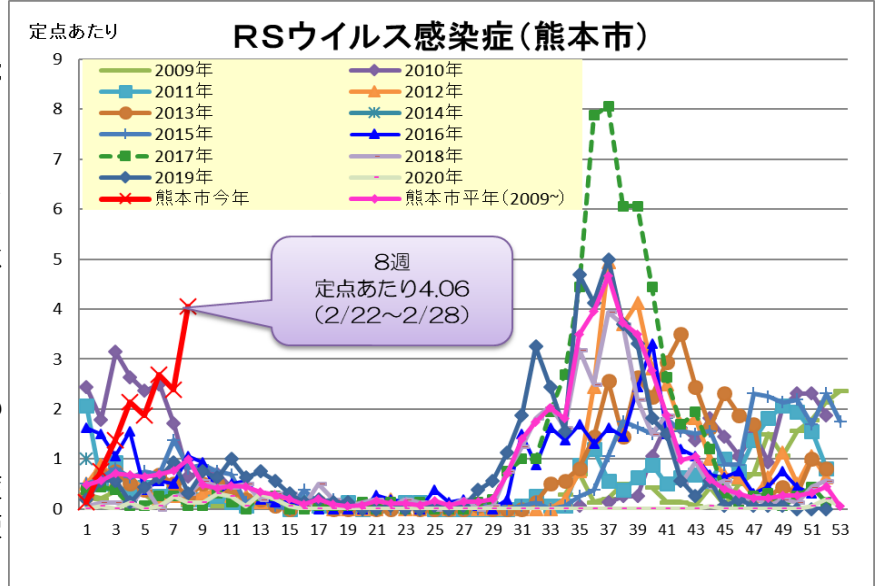
### ◆どんな病気？

・症状……発熱などの軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。多くは軽症ですみませんが、低出生体重児、心疾患、肺疾患、免疫不全のある場合は重症化のリスクが高いと言われています。また、初めての感染では症状が重くなりやすいと言われており、特に乳児の早い時期(生後数週間~数ヶ月間)に初めてRSウイルスに感染した場合には、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。

- ・潜伏期間……2~8日程度(典型的には4~6日)です。
  - ・感染経路……感染者の咳やくしゃみのしぶきを吸い込む飛沫感染、ウイルスが付着した手や物(手すり、おもちゃ等)を触ったりなめたりすることによる接触感染があります。
  - ・流行期……以前は冬季にピークが見られていましたが、近年は7月頃から報告数の増加傾向が見られています。
- 感染した場合、特効薬はありませんので、治療は基本的には対症療法になります。

### ◆予防法や対策は？

手洗い、アルコール製剤などで手指を衛生的に保つ事です。子どもたちが日常的に触れる物や場所などは、アルコールや塩素系の消毒剤などでこまめに消毒するようにしましょう。重症化のリスクの高い乳幼児には、医師の判断のもと、重症化を予防するためにパリピズマブ(シナジス)という薬を使用する場合があります。



期 間		2021年 7週		2021年 8週	
		2/15~2/21		2/22~2/28 (最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	⬆️ <b>注意!!</b>	38	2.38	65	4.06
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	4	0.25	0	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	8	0.50	3	0.19
感染性胃腸炎	➡	28	1.75	22	1.38
水痘(みずぼうそう)	➡	0	0.00	0	0.00
手足口病	➡	1	0.06	1	0.06
伝染性紅斑(りんご病)	➡	3	0.19	0	0.00
突発性発しん	➡	12	0.75	13	0.81
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	0	0.00	4	0.80
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00